

1,300円で

地球一周の船旅ができる本



ヨルダン唯一の港・アカバ港（2007.7.6）



グアテマラ・プエルトケツァル港で

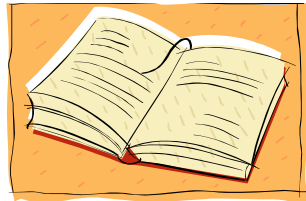
長年の夢だったピースボート地球一周の船旅。このたび機会を得て初めて乗船した。この年、2007年の夏は船旅で過ごしたことになる。訪れた20か国、22寄港地、103日間の旅について書き留めておきたいと思う。これから乗船してみようとする方の参考に、どうしても今は乗船できない人には、読んでいただいても実際に出かけただけの気分になってもらいたい。私としての全体の感想は、夢だった船旅が実際に乗ってみると本当に「夢の世界」であったような気がする。日常から離れ、船という特異な空間で940人ほどの参加者が時を共にし、老いも若きも共同生活を送りながら大きな地球を一周したというこの体験は、そう簡単には得られない。身の周りの環境が整わないことには出かけられないし、ある程度の冒険心も必要だ。航行中は毎日、海、海、海。少々忍耐力も必要かも知れない。多くの出会いもあった。

地球を一周して帰って来てから一番思うことは、もっと若いときに乗船しておけばよかったということだ。そうすれば世界観が変わって職業の選択肢も増えていただろうなと思うと、今の若い人に、もっと乗船してもらいたいと思う。そういう意味でも、この拙著を通して何かをつかんでいただけたら幸いである。さて、その103日間の顛末とは・・・。

【安藤雅巳】

『地球遊学・103日間の船旅から』

第58回ピースボート地球一周クルーズの記録 B6判、342ページ、ソフトカバー付、未来派ボックス3



安藤雅巳・山岡平三 共著 2008.6.1
未来派研究所(千葉県柏市)刊、
頒布価 1,300円 (送料 300円)

主な内容 第1部(安藤雅巳著) / 夢の地球一周を船旅で / 神戸港出航から東南アジアへ / インド洋の荒波を越える / 初めてのアラビア文化圏 / ヨーロッパは寄港地ラッシュ / 大西洋8日間の航海を経てニューヨークへ / 豪快な流星と美しいカリブ海 / 雨季の中米諸国から太平洋を北上 / アラスカ氷河クルーズのあと帰国へ / 船旅生活アラカルトほか 第2部(山岡平三著) / 地球遊学・交流する私 / フェ・子どもの家を訪ねて / インド・ケーララ州のNGOを訪問 / パレスチナ難民キャンプでの交流 / ゲルニカを訪ねて / 国際司法都市ハーグを訪ねる / ほか
申し込み: 郵便振替口座 00940 - 8 - 107005 口座名称 安藤雅巳へ送料込み 1,600円をご送金ください。2008.6以降の申し込みの場合、発送が8月下旬頃になりますのでご了承ください。